

平成29年度地域学校協働活動研修会①第3回研修会 (放課後・土曜日等支援)

平成29年11月28日13:30~16:00
津山市中央公民館

地域コーディネーター、学校支援ボランティア、
地域連携担当職員、行政関係者 等 21名参加

講 話

「地域の中で、子どもに豊かな体験活動を！
～『食』を通じた体験から見えたこと～」

株式会社マルイ営業本部食育推進室 課長 春名久美子 氏

- 企業としての地域貢献のビジョン
 - ・「食育」を通じた地域課題の解決への貢献
 - ・地域の次世代に良いものを残していく体験活動 等
- 体験活動を通して感じたこと
 - ・楽しい体験の積み重ねから生まれる「食を楽しむ」、「食に感謝する」意識
 - ・親子・地域の大人と子ども等、世代間をつなぐ効果 等
- 子どもに対する関わり方で大切にしていること
 - ・先回りをして準備をしすぎない支援体制
 - ・先人の知恵を生かし、子どもの目線に立った事業の実施 等



講話の様子

実践発表

放課後子ども教室
(まちなか子ども基地・放課後オレンジ教室・北小なないろ教室)
教育活動推進員 角野 いずみ 氏

- 指導者の子どもを捉える視点や関わり方
 - ・子ども同士が「生活」や「遊び」の中で関わり合いながら育つための支援
 - ・一人一人の違いを認め、大切にしたい関わり
 - ・失敗も受け入れ、自ら成長していく過程を見守る姿勢
 - ・行動の理由に目を向け、寄り添う姿勢 等
- 子どもが安心できる居場所づくり
 - ・「三間(さんま)」
(ゆったりした時間
 ありのままにいられる空間
 気楽な仲間)



実践発表の様子

情報交換

テーマ「指導者として、改めて大切にしたいこと、新たに取り入れたいこと」

(発言の一部)

- ・大人としての思いこみをなくし、子どもに寄り添う姿勢を大切にしたい。
- ・子どもを自立に導く関わりに取り組みたい。
- ・学校、保護者との連携が重要である。
- ・保護者に対する子育て支援の必要性を感じた。
- ・企業と連携した活動を企画したい。



情報交換の様子

アンケートより

- ・企業が地域の未来を見据え、世代間をつなぐ取組を行っていることが素晴らしいと感じた。
- ・「楽しい体験の積み重ねが意識を変えることにつながる」という言葉に納得させられた。
- ・放課後の子どもたちの現状を改めて認識し、今後の活動の在り方を考えさせられた。
- ・「大人の都合を押し付けない」、「三間(時間・空間・仲間)の大切さ」等、指導者が忘れてはならない視点について再認識することができた。